

第4回淡路島総合観光戦略策定会議（1/24）における意見等への対応

修正意見①

- ・ 12/14の戦略会議において、淡路地域は他の地域と比べてコロナによる落ち込みが少ない。それは観光面でいろいろとがんばってきたからだと思うが、そのようながんばりを書いたらどうかという意見があったものの、あいかわらず現行戦略に基づく取組等のところは、ネガティブな印象を受ける。もう少し、ポジティブなところをプラス要素として評価すればよいのではないか。

【対応】

戦略案・本編（資料4）「第1章 現行戦略の進捗状況 3 現行戦略に基づく取組等に対する評価」において記述内容を再整理（資料4 p8～10）。

修正意見②

- ・ 「淡路島の観光を取り巻く環境の変化」の中での「島外資本の積極的な進出」の項の記述内容について、島外企業をよそ者扱いするような印象を与えないか。淡路島の魅力やポテンシャルを感じ、淡路島が本来有する良さと調和した事業をするために進出してもらうことは歓迎できるので、進出企業との連携を図り、戦略を推進するような表現にすべき。

【対応】

戦略案・本編（資料4）「第2章 淡路島の観光を取り巻く環境の変化と今後の取組の方向性 1 淡路島の観光を取り巻く環境の変化」の「（5）淡路島への島外企業の積極的な進出」において、文言を修正。（資料4 p20）。

修正意見③

- ・ KPIの⑤観光GDPの域内比率（シェア）は17%となっているが、この算出に当たり、観光GDPは2019年度の10%アップとしているものの、全体のGDPはそのままとしている。そうすると、観光以外の産業のGDPは下がるということになる。5年後のGDPで、その途中に大阪・関西万博が開催され、これに合わせてがんばろうという企業等が出てくる中で、観光GDPは上がり、これ以外は下がるということ为前提とした目標設定はいかがなものか。

【対応】

戦略案・本編（資料4）「第3章 本戦略のめざすところ 4 評価指標」において次のとおり修正を反映（資料4 p29～30）。

- ・観光GDPの域内比率（シェア）については、その動きを確認していくが、KPIからは削除する。

<考え方>

- ・観光GDPの域内比率は、観光産業以外の産業の成長又は縮小により増減することがあり、観光GDPの域内比率は必ずしも観光産業の成長を表すものではないため。